

はまなす

公益社団法人 北海道看護協会
札幌第4支部だより

■発行所：公益社団法人 北海道看護協会札幌第4支部 編集責任者 飯野智恵子

HOKKAIDO NURSING ASSOCIATION HAMANASU



撮影：耳鼻咽喉科麻生北見病院 村田 保博

Contents

- 令和2年度 札幌第4支部 研修報告
- TOPICS 私たちの感染対策
社会医療法人社団三草会 クラーク病院
社会医療法人耳鼻咽喉科 麻生病院
- TOPICS 施設紹介
社会医療法人社団 カレスサッポロ
北光記念病院・北光記念クリニック
- 我が家のペット
- 令和2年度 札幌第4支部大会のお知らせ 他



令和2年度 札幌第4支部 研修報告

北海道看護協会では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体温測定、マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスの確保に努め、研修会を開催しました。

看護師職能委員会

がん患者・家族とのコミュニケーション～NURSEを用いて～

- 日 時：2020年10月10日(土)14:00～16:00
- 場 所：札幌サンプラザ
- 参加人数：40名
- 講 師：北海道大学病院 がん患者サポートナースセンター
看護師長／がん看護専門看護師 石岡 明子 氏



昨年に引き続き石岡明子先生をお迎えし「がん患者・家族とのコミュニケーション」についてご講演頂きました。

はじめにコミュニケーションに関する基礎知識の説明がありました。看護師のコミュニケーションの特徴として「説明・説得が多い」「看護師が問題解決を図ろうとしてしまう」「言語的なメッセージの伝達が少ない」の3点が挙げられており、専門職としてはもう少し言語的コミュニケーションを洗練させる必要があるとの見解が示されていました。近年の医療現場では在院日数の短縮化や外来中心の傾向により、患者と医療者が接する機会が少なくなっているため、短時間で患者の思いを導き出し、医療者の見解や思いを明確に伝達するスキルが重要となってきています。特にがん患者は意思決定場面に直面することが多いため、エンドオブライフケアに於いてはコミュニケーションスキルが重要となります。

米国がん研究所では、患者の感情に寄り添い、対応するための総合的なコミュニケーションスキルとして『NURSE』

が推奨されています。Naming（患者の感情の中に何が起きているのかに注目するため、その感情を具体的に【命名】して伝える）Understanding（患者の持つ感情面での体験を【理解】し、それが妥当なものであることを伝える）Respecting（感情だけでなく、姿勢や態度、人格、対処方法などを含めて【承認】する）Supporting（私はあなたを援助したいということ、患者に明確に伝える【支持】）Exploring（患者が話すことに質問し、関心を持って焦点化しながら尋ねることで、共感の関係を深める【探索】）

感染防止上、実際の演習ができなため、モデルケースを通し紙面上でロールプレイをしました。『NURSE』に対する理解をより深めることができ、『NURSE』はがん看護に留まらず、あらゆる場面で役に立つスキルだと実感しました。

今回の研修に参加し、患者の感情表出を促進させる技法『NURSE』を学ぶとともに、自分自身のコミュニケーションスキルを見直す良い機会となりました。（記：郡）

教育委員会

看護研究研修会「研究テーマの決め方」

- 日 時：2020年10月24日(土)13:20～15:30
- 場 所：札幌サンプラザ
- 参加人数：40名
- 講 師：札幌市立大学 看護学部 武富 貴久子 氏



看護の実践・教育・管理など、直接・間接的に看護ケアの影響を与える事象について研究を行っている。さらに看護研究は看護の質向上のために活かせるといわれている。今回の研修では、看護研究のプロセスの中で一番重要な「研究テーマ」に焦点をあてたものであった。研究テーマ探しは、臨床実践の場で私たちが普段感じていること、不思議に思ったことを言語化することから始まる。実践の場で生じた疑問を逃さずに、気になる場面をとにかく詳しく自由に書き出し、

キーワードを探すことで研究テーマがみえてくる。研究テーマはリサーチクエスト（研究疑問、研究設問）を解くことでより具体的な研究目的に繋がっていく。研究テーマを決める時には、自分たちの「気になる何か」をから始まること、そして、自分たちが面白いと思えるかが重要であることを学んだ。自分たちが面白いと思えることが研究テーマであると、看護研究に、より興味を持って取り組めると感じられた講義であった。（記：永井）

保健師職能委員会

発達障害の豊かな世界と支援～困難をこえる支援とは

- 日 時：2020年10月24日(土)10:00～12:00
- 場 所：ACU-A（アスティ45内）
- 参加人数：94名
- 講 師：札幌学院大学 名誉教授 二通 諭 氏



二通諭先生をお迎えし「発達障害の豊かな世界と支援～困難をこえる支援とは」についてご講演頂きました。

はじめに二通先生から自己紹介がありました。幼少時から吃音・ADHDの傾向を有していたという過去、吃音を打開するために自身が発する事が苦手な「と」から始まる言葉を、自分が言いやすい別の言葉に瞬時に切り替える方略を編み出したこと、その工夫と努力により語彙力・文章力の向上につながったこと等、具体的にわかりやすく説明して頂きました。

発達障害とは、漠然としたイメージではアスペルガー症候群を中心とする自閉症スペクトラム障害（ASD）、注意欠如多動性障害（ADHD）を指します。アスペルガー症候群では思ったことを配慮も加工もせずにそのまま言うという特性があり、悪意はなくても誤解されやすく、それがいじめに繋がり不登校を招く要因にもなります。そこで特別支援教育における支援の原理とは①インタビューすること（聴

き取る）②必要な「支え」をいれること、そして「持てる力を高める」ことが特別支援教育の目標のひとつであることが挙げられていました。例えば、家では長時間ゲームにのめり込み、登校しても居眠りばかりしている中学1年のA君に対して「登校出来ること」自体を彼の「持てる力」と捉えること。居眠りを責めすぎると不登校や引きこもり等の悪循環に陥る可能性がある。また、「わがまま」にしか聞こえない言い回しが多くある子に対しても「わがまま」のではなく「我慢が苦手」と捉える。それなら我慢する力を身に付けよう、我慢するってどういう事なのか？どうしたら身に付くのか？を子供と一緒に考えようという関わりが必要だということを知りました。

発達障害における困難軽減の原理とは①周囲の適切な理解と対応②本人の工夫と努力の2点であることが理解でき、発達心理学を学んでみたいと興味が湧く講義でした。

（記：郡）

北海道の警戒ステージを指標とし、やむを得ず中止になった研修会もございました。ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

TOPICS 私たちの感染対策

Topics

私たちの感染対策①

社会医療法人社団三草会 クラーク病院



当院では、感染予防対策として、2020年3月から外来入り口での検温を実施しています。

また、職員に対しても勤務時の検温をおこない、検温表に記載するようにしています。

9月からは、職員玄関と外来入り口に非接触式の温度計を設置しました。検温およびマスク着用の有無も判定し音声で知らせます。外来入り口には防護具を着用したスタッフも立ち、検温の介助や受診の可否について対応を行っています。

当院は、発熱者に対応するためのゾーニングを行うことが難しい構造となっていますが、外来ブースの一角を区切り、発熱外来として対応を行っています。対応する職員の動線もワンウェイとして汚染を防ぐ工夫をしています。また、医事課受付にビニールカーテンを設置したり、外来待合室は席の間隔をあけてお待ちいただく等の対策をおこなっています。

地域連携感染管理合同カンファレンスも、リモートでの会議が行われています。

例年行っている、院内保育園児によるハロウィンの院内パレードも、今年は自粛し写真パネルでのお披露目となりました。

日々変わっていく状況に対応できるよう、その都度検討し、工夫しながら感染対策に取り組んでいきます。



非接触式温度計



入り口検温係



外来座席貼紙



発熱外来ゾーニング



保育園ハロウィン



リモート会議

TOPICS 私たちの感染対策

Topics

私たちの感染対策②

社会医療法人耳鼻咽喉科 麻生病院



当院では2020年11月1日から季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行に備え、発熱患者専用の診察室を設けた「発熱外来」を実施しています。

来院時は検温場で「手指消毒」⇒「検温」⇒「症状確認」をお願いしています。

熱のない方、症状のない方は、総合受付にて受付をしていただき、通常診察の流れでお呼び致します。

発熱症状または感染の疑い症状がある方は、通常診察エリアとは完全に分離された場所での対応となります。

専用のゾーニングエリアにてお待ちいただきます。こちらのエリア内においてもご安心ください。患者さんと患者さんの待機場所は遮蔽のうえ、十分なスペースを開けてお待ちいただけます。

これからも新型コロナウイルス等の院内感染を防ぎ、皆様ご安心・安全に受診、治療が受けられる対策を継続し実施して参ります。



検温エリア



待合



問診表記入場所(発熱外来)



診察検査待合(発熱外来)



ゾーニング図



感染症診察室(発熱外来)



Topics

施設紹介

社会医療法人社団 カレスサッポロ
北光記念病院
北光記念クリニック

原点から考えなおす保健・医療・福祉～地域の皆様と共に創る“愛と信頼の輪”～

北光記念病院は、この理念のもとに、循環器内科と心血管外科の連携のもとに、24時間365日の救急体制で迅速な診断と適切な医療を提供することを目指しています。急性心筋梗塞、狭心症、不整脈発作に対して、24時間常時、医師、看護師、メディカルスタッフからなるチームが、カテーテルを含めた緊急治療可能なシステムを持つ循環器急性期を専門としています。循環器内科と心血管外科が緊密に連携し、高いハードルをクリアして施設基準を取得しています。心筋梗塞や狭心症治療などの虚血性心疾患では、インターベーション治療や冠動脈バイパス術を一般的に行っています。さらに冠血管慢性完全閉塞に対しては、ロータブレーターを使用して血管拡張治療を行っています。不整脈の領域では、心房細動を含め、数多くのカテーテルアブレーション治療を行っています。一方、心室頻脈などの致死性不整脈に対しては、植込み型除細動器治療を行っています。このように急性期の侵襲的治療を主体に行っていますが、術後の心臓リハビリテーションなど慢性期の治療にも力を注いでいます。

また、隣接する北光記念クリニックでは北光記念病院の外来部門を担っており、専門的な循環器治療を受けることができます。外来部門であり、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病、さらにメタボリックシンドロームに対しては「自分自身で健康管理」ができるように、さまざまな角度から患者さまの現状を分析し、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士がチームを組み、それぞれの専門的立場からアドバイスをさせて頂くという「生活習慣改善プログラム」を用意しています。さらに、血管内科専門医が診断・治療を行う「血管外来」や、禁煙のサポートをする「禁煙外来」も行っています。

看護部は、～「愛と信頼の看護」私たち看護師は、「看護者の倫理綱領」を行動の規範とし、誇りを持って質の高い看護を提供します～を看護部理念として看護を提供しています。循環器専門病院として高度な医療を提供している一方で、2016年には地域包括病棟を開設し、住み慣れた地域に戻れることを患者さまと目標にして、リハビリテーションや慢性疾患のコントロールや生活習慣病の予防、退院後訪問などを実施して、地域住民皆様の生活に密着した地域医療を実践しています。また、看護部の教育には、クリニカルラダーを活用して成長を支援するほか、新人教育だけではなく、中途入職者に対しても自己のペースに合わせて、教育プログラムで支援しています。さらに、循環器専門教育で循環器に強い看護師の育成に繋がっています。看護部理念のもと、患者さまの生活を含めて療養できるように、医療チームの一員として看護を提供すること、知識・技術だけではなく、人として成長していくことを目指しています。

社会医療法人社団 カレスサッポロ
北光記念病院
〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番6号
☎ 011-722-1133

社会医療法人社団 カレスサッポロ
北光記念クリニック
〒065-0027 札幌市東区北27条東8丁目1番15号
☎ 011-722-1122



中央画像診断室



心臓リハビリテーション室



緊急入口



透析センター

我が家のペット紹介

賢ちゃん

我が家には「賢」という黒パグのオスが居ます。賢は2018年12月13日に我が家の家族になりました。同年9月末まで黒パグのメスを飼っていたのですが、病気で治療の甲斐もなく虹の橋を渡ってしまいました。

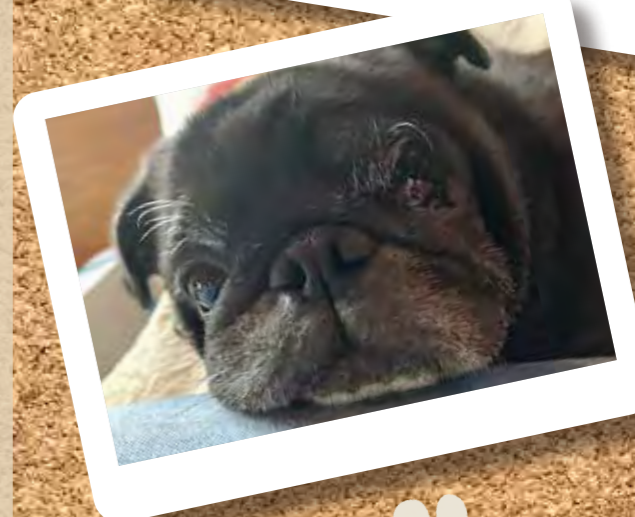
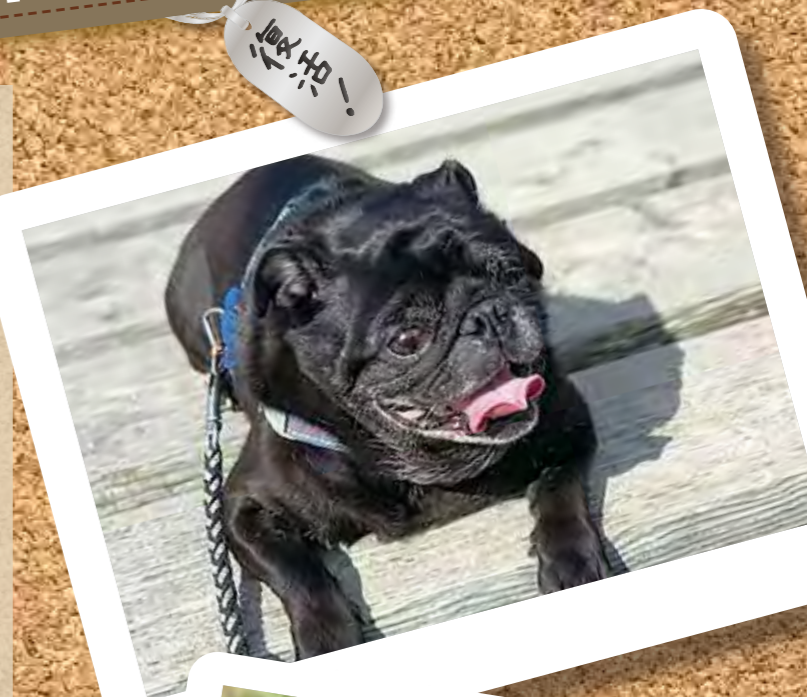
パグだけで多い時には成犬3匹と子犬5匹という大所帯の時もありました。母親犬は育児放棄(?)気味だったので、私達人間が3時間おきにミルクを与え、排尿・排便を促すという休む暇のない時間を過ごしたこともあります。そんな時間であつという間に過ぎ、犬のいない生活が始まりました。

親は高齢なのでもう子犬は飼えないからと動物を飼うことを諦めると言っていましたが、ペットショップへ行っては「可愛いなあ～」と目を細めて眺めていました。ある日ホームセンターでパグのぬいぐるみを見つけ「本物みたいで可愛いから買って帰ろう!」と親がぬいぐるみを購入した時、これは相当のペットロスになっているかと心配になりました。そんな時にSNSで動物管理センターの情報が目に入りました。何度か見ていると、ある日迷子のパグが載っていました。親に「迷子のパグがいて明日まで飼い主が見つからなかったら譲渡可能になるらしいけど見に行く?」と写真を見せると、速攻で見学に行くことになりました。センターでは「いっち」という名前前で保護されていた賢を見るや否や、「うちの子になるかい?」とすでに飼う気満々な親がいました。賢も「僕は元気一杯で可愛いよ!」とアピールしているようでした。



譲渡可能当日、私は夜勤明けで譲渡開始時間に間に合わない為、吹雪いていたら親だけでは運転は危険なので諦めよう話し合いました。夜勤明けで帰宅すると、親の車はありませんでした。そして、帰ってきた親の腕の中にはちょっと緊張した顔の賢がいました。それから約2年、推定年齢は10歳なので高齢ですが、賢は大きな病気もせずマイペースで過ごしております。実年齢は分かりませんが、いつまでも元気で長生きして欲しいと思っています。

江別谷藤病院 N・M



お知らせ

札幌第4支部だより
「はまなす」が
北海道看護協会ホームページから
閲覧できるようになりました！



札幌第4支部だより
「はまなす」
No.101より御覧頂けます。
下部URLをご確認ください。

令和2年度 札幌第4支部大会の お知らせ

日 時：令和3年2月20日(土)

場 所：ホテル ライフォート札幌 2階 ライフォートホール

講演会：テーマ

最高のパフォーマンスを
導き出すチーム作り

講 師：上田 順子 先生

※新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、北海道の警戒ステージが「3」の場合、支部大会は中止とさせていただきます。

会 員 募 集

北海道看護協会札幌第4支部では、看護の質の向上をめざした活動や事業を行っています。また、看護職を取り巻く環境が大きく変化している今、多岐に渡る研修が準備されています。研修に参加して友達の輪を広げましょう。入会は、右記までご連絡ください。

連絡先 北海道看護協会総務課

電 話 011-863-6731

会 費 16,500円

募 集 中 の テ ー マ

表紙写真

季節の風景・看護の風景・ご自身の作品・
ペット紹介など、なんでもOKです。

施設紹介・スタッフ紹介

自薦他薦かまいません（写真数枚、本文400字程度）

連絡先 札幌第4支部 広報委員会
北光記念病院 永井 美穂子
Email: m-nagai@hokko.or.jp

編集後記

11月に入り新型コロナウイルス(COVID19)感染者数の増加が著しく、感染対策に追われている日々だと思います。今年度は、予定していた研修会を中止せざるを得ない状況のなか、感染対策に十分配慮して、支部主催の研修会を開催されていました。今回の号では研修報告と感染症対策についての記事を載せました。今後の何かの参考になればと思っています。元の生活に戻ることは難しいですが、はやく収束することを願っています。

(記：永井)



札幌第4支部会員数

保健師：102名 看護師：4,341名

助産師：196名 准看護師：142名

2020年12月末現在：4,781名

2020年度札幌第4支部目標会員数：4,705名